

大島地区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和3年7月3日(土) 11時～12時40分
場所 大島交流センター 体育館
司会・進行 後藤連合自治会長
参加者数 男 37 女 11 合計48人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】 … なし

2. 校区課題

課題①（継続課題） 和井田浜海岸への取り付け道路について

【質疑応答】

（質問者）

和井田浜は東予地区において自然の砂浜が残っている唯一の海岸である。しかし、数年前の風水害の影響により取り付け道路が流され、浜へ下りる道が閉ざされている。長く放置された現状では、砂浜に漂流物が散乱し清掃活動もままならない。大島の活性化として、和井田浜海岸へ下りる道路の復旧工事をするにはできないのか。砂浜の清掃活動を実施するためにも運搬車等が通行可能な道路が必要である。現状の水路を道路として使用する等の方法はとれないか。そして道路が復旧した際は、海水浴場の復活や青少年健全育成の場として活用し、過疎化が進む大島を皆で盛り上げていただければありがたい。一歩でも前進できる回答を望む。

（建設部長）

和井田浜海岸へ下りる道として考えられるルートは、いずれも個人敷地につくられた私道であり、境界も不明な土地であるため、現状で市が整備を行うのは困難である。市道としての整備には、利用目的が明確となり、公共性が高い道路という位置づけが必要である。例えば今後、和井田浜が大島全体における重要な観光資源として取り上げられ、利用計画が明確になった場合には、関係機関とも協議の上、地域と一緒に検討していくものと考えている。

(経済部長)

現状の水路は、昭和 50 年から 56 年にかけて愛媛県が急傾斜地帯農地保全対策事業の一環として整備した排水路である。この排水路は降雨による農地等の浸食を防止するために、地区の低位部に設置されたものであり、降雨を集水するために開水路となっている。このことから、水路に蓋をかけて道路として利活用することは、本来の機能を阻害する懸念もあり、現状では困難であると考えている。

(質問者)

昨年から同じような回答で進展がない。自治会としても土地所有者特定のための調査など、我々にできることは可能な限り協力したいと考えている。ただ「難しい」ではなく、提案をしてほしい。前向きな回答をお願いしたい。

(市長)

確かに昨年の回答からほとんど変化がなく、申し訳ないと思う。市の重点事業等の説明でも申し上げたように、市は大島振興策として、まずは白いもの生産拡大を挙げている。その次には、サイクリングロード等を活用して島外からの来訪者を増やす、また、行ける道がないとのことだが「舟かくし」というスポットを活用するのも一つの方法かもしれない。これら大島の振興計画を考えていく中で、また和井田浜への道路が必要ということになれば、計画に基づき整備していくことになる。まずは皆さんの知恵をお借りして、計画を作っていきたい。

課題②（継続課題） 一周道路について

【質疑応答】

(質問者)

大島一周道路については、令和 2 年度の整備作業で車両通行が可能となったが、今後は現在の環境維持、管理のための整備補修工事をお願いしたい。具体的には、樹木の伐採や除草作業の定期的な実施、破損ガードレールやカーブミラーの修繕、木の根や土で詰まっている排水管の修理工事など。そして樹木の伐採により、土が剥き出しになった箇所は上から補強をしてほしい。また別荘跡地付近の路面が良くない。これらの問題は既に道路課も把握しており、少しずつではあるが整備補修を行っていくと聞いているので、よろしくをお願いしたい。

また、サイクリングロードとして、一周道路に公衆トイレを設置してほしい。

(建設部長)

昨年度実施したサイクリングロード環境整備事業により、沿線の樹木伐採や側溝の土砂撤去を行い、大幅な通行環境の改善が図られたものと考えている。しかし、樹木、ヨシ竹等の発育は早く、継続的な維持管理は今後も検討が必要である。自治会とも相談させていただきたい。

今後の補修、整備の予定についてだが、市道大島支線の改良工事については、令和3年及び4年度の工事をもって、当初計画箇所については完了予定である。この工事に合わせて、要望箇所の補修も実施する。具体的には、防護網の落石撤去、土のう袋撤去、ガードパイプ修繕、横断排水管の修繕など。カーブミラーの倒壊については、雑木の伐採により見通しが良くなったため、先日撤去した。ブロック積のはらみ出しについては、現在のところ通行に支障はないため、引き続き経過観察を行いたいと考えている。

(経済部長)

大島一周道路は、県全域で取り組んでいる「愛媛マルゴト自転車道」のファミリー向けコースとして指定されている。最近は釣り客等、島外からの来訪者も多くなっており、公衆用トイレの設置について一定の必要性は感じている。しかしながら、来訪者数の現状や整備費用等を考慮すると、現時点での設置は困難と考えている。まずは引き続き入込客数の推移や整備の必要性等の調査、研究を進めていきたい。

(参加者)

一周道路がサイクリングコースとして位置付けられているのならば、大島の現状、例えば貸し自転車屋が無人の状態、運営されていないという現状はどうか。その辺りの運営体制も強化してもらえれば来島者も増えるのではないかと。

(経済部長)

確かに、以前はレンタサイクル店があった。現在は、予約があれば貸し出しをしている状態と伺っている。そういった情報も、色々な形で皆さんにお伝えできるよう努めてまいりたい。今のところはファミリーコースでもあり、新型コロナの影響等もあるので、遠方の観光客というよりは近隣の方が、自分の自転車で家族とのんびり回るということを考えている。

(市長)

今までは一周道路そのものが未整備だったため難しかったが、昨年からは整備を進めてきて、そろそろサイクリングロードとして売り出してもいいのではないかと、という気持ちがある。整備が完了したら、そういった人材等の誘致についても検討していきたい。

また、これは相談だが、一周道路の樹木や雑草の問題について、市から委託金をお支払いして、日頃の簡単な草刈りや維持管理を地元の住民の皆さんにお願いすることはできないだろうか。別子山地区では、これは県道になるが、既に行っている。また自治会の皆さんで相談いただき、もし可能となれば市と協議いただけたらと思う。

課題③ (継続課題) 大島漁協倉庫について

【質疑応答】

(質問者)

安全のためにも、古くなった漁協倉庫の撤去が望ましい。最小限の修繕として、割れたスレートが飛ばないように覆っているネットのロープ等での頑丈な固定を要望したい。また旧借地法によると、堅固建物は60年を経過すると、更新しない限り自然朽廃により借地権が消滅するが、借地権者と土地所有者の間で更新の話し合い等は行われているのか。

(経済部長)

当該建屋の所有者である愛媛県漁協大島支所に確認したところ、漁網の飛散防止対策として8月中旬までにロープで地上との固定措置を実施するとのことだった。解体については、昨年度から解体費の積立を開始しているが、経営状況を勘案しながらの対応となるため、具体的なスケジュールは現時点では回答できない、しかしながら、できる限り早期に解決できるように取り組んでいく、とのことだった。

市としても建屋の状況を注視しながら、漁協への指導等を継続してまいりたい。

なお当該土地は愛媛県漁協大島支所自身の所有物件であるため、借地権の消滅云々の話には該当しないものと思う。

(参加者)

大島支所の所有物件ということは、支所が売却した場合には、購入者側が何らかの措置を行うことが可能ということか。また、場所が沿岸部にある等の理由で、使用目的等に何らかの規制はあるのか。

(経済部長)

土地・建物ともに大島支所の所有物件であるため、売却等については大島支所の判断となる。また、当該土地は、海側の新居浜市所有の土地と同様に、使用用途について一定の制限がかかるエリアになる。

課題④（新規課題） 大島のネット環境等の整備について

【質疑応答】

(質問者)

最近では島外からも多くの方が来訪するようになったが、IT化の掛け声も虚しく、大島は本当にインターネットが繋がらない。市内にはフリーWi-Fiが設置されている場所が何箇所もあるが、大島にも渡海船乗り場や交流センター等にフリーWi-Fiの設置は考えていないのか。ITの活用を考えているのであれば、「環境が悪い」ではなくて、環境を改善するように努めてほしい。

また、船着き場の看板にQRコード等で大島の名所案内をするのはどうか。それから市のホームページの渡海船のページは料金表が一番初めに表示されるが、島民にとって最も重要な情報は運行状況である。もっと市民のためを考えてホームページを作成してほしい。

白いもについては、島外では栽培が難しいと聞いているが、遺伝子解析や土壌分析を行い、「つくる」だけでなく「残す」ことも考えてほしい。一周道路の除草については、新居浜のものづくりの技術を活かして、草刈りができる安全な重機の開発を、企業と協力して行えないか。また、大島の貴重な文化遺産をアーカイブとして映像に残す工夫をしてほしい。その際は、感性の高い学生の意見を聞いてはどうか。

(企画部長)

これまで大島地区には十分なインターネット環境が整っておらずご不便をおかけしていたが、市が国の交付金を活用し、(株)ハートネットワークが新たに無線通信である地域BWA基地局を整備するための補助を行った。その結果、(株)ハートネットワークによる高速無線インターネットサービスが、大島でも市内と同価格で利用できるようになってきている。各家庭には公民館だよりでチラシを配布しているが、利用の可否については各家庭の電波調査の結果によるので、詳細は(株)ハートネットワークまで問い合わせいただきたい。

他にも数点、質問をいただいたが、ホームページの作成については、新居浜市では各担当課が作成している。渡海船の担当者も本日この場に来ているので、ご意見を参考に検討させていただきたい。その他のご意見についても、今後の市政の参考にさせていただく。

(参加者)

市内中心部の何も障害物のない場所で、通信状況が悪くて(株)ハートネットワークに来てもらい、光通信に変えたことがある。大島ではさらに感度が落ちるのではないかと思う。そういう状況を色々と検討したうえで今回の判断なのか。

(企画部長)

通信状況については、(株)ハートネットワークから、大島内の住居がある地域は基本的に大丈夫であると聞いている。ただし、市内でも同様であるが、部屋の状況など環境により電波状況は異なってくる。個別に電波調査を行い、通信可能となれば契約の検討をいただく、という流れになると思う。

(ICT戦略課長)

通信の性能はインターネットの使用用途にもよる。動画視聴など容量を多く使う使い方をする場合には、通信状況が悪いと感じることもあるかもしれないが、ウェブサイトの閲覧等であれば問題なく使えると確認している。

課題⑤ (新規課題) 渡海船の停船前の連絡方法について

【質疑応答】

(質問者)

運輸観光課から以前に説明があった、渡海船運休連絡のために運行状況専用の SNS アカウント (LINE) を取得して周知する方法の検討は、その後どうなっているのか説明してほしい。

い。安全のために台風や強風で運休するのは仕方がないが、島に住まいのある住人がせめて帰宅できるように、携帯やスマホ等で早く周知をしてほしい。早急な実施を希望する。

(経済部長)

新居浜市公式 LINE で運行状況をお知らせすることが可能なため、現在、事前の LINE 登録を依頼するチラシを連合自治会を通じて各戸に配布している。欠航・再開のお知らせについては、決定次第、できる限り早く発信できるよう関係課所と連携していくので、ご理解いただきたい。LINE は事前に登録した人に、市が直接情報を送信できるので、ホームページのように自分から情報を見に行く手間がかからない。渡海船の運休・再開など重要な情報の伝達には有効な手段と考えているので、ぜひ登録への協力をお願いしたい。

(参加者)

若い人は良いが、やり方がわからない高齢者はどうしたらよいか。チラシを見ても判らない人もいる。

(経済部長)

やり方が判らない人への対応については、また担当課とも協議して連合自治会にお伝えさせていただく。

(大島交流センター長)

大島ではまだガラケーの方も多い。ガラケーの方には、今も使っているメールマガジンの方が、メールが届くという形で情報が届きやすいのではないかと。ラインとメールマガジンの両方を準備いただけるとありがたい。また、この場を借りてお願いしたいが、今年度から市内の中学校に大島から通学している生徒がいる。欠航のような緊急の情報は、学校にも連絡いただきたい。学校に連絡があれば、学校から子どもに伝わって急遽、帰ってくることもできる。そのような連絡体制の確認をお願いしたい。

(経済部長) 中学校への連絡については、再度徹底させていただく。

3. その他

意見① 渡海船黒島待合所について

【質疑応答】

(質問者)

黒島の渡海船の待合室の造りが古く、特にトイレは和式なので、洋式に変えられないか。古くて、外から見ても汚いと感じるので何とかしてほしい。

(経済部長) 持ち帰って検討させていただく。

【市長まとめ】

- ◎大島の観光振興については、まず地域の皆さんとも話し合っ、これからの大島をどのようにしていくかを決めていきたい。それに基づいて、計画的に事業を実施していきたいと考えている。
- ◎当面は白いもの普及と生産拡大、これに力を入れていきたい。そしてサイクリングロードもほぼ整備できたので、普及に努めていきたい。
- ◎これらの振興策の実施には、ネット環境の整備が基本となる。整備を進めていきたい。また、渡海船の運航状況を早急にお伝えすること、その対応も引き続き検討してまいりたい。
- ◎最後にいただいた意見、黒島待合所のトイレについても、持ち帰って検討する。
- ◎本日いただいた様々な意見は、検討のうえ、また自治会とも相談させていただき、改善につなげていきたい。今後とも何か問題等あれば、自治会を通じて連絡いただきたい。